

平成29年度 日本大学スポーツ科学部個人研究費 研究実績報告書

所属: スポーツ科学部 競技スポーツ学科
 資格: 教授
 氏名: 森丘 保典

研究課題		競技スポーツのコーチング実践における効果的な量的・質的情報(データ)の収集・分析方法に関する研究
報告の概要	研究目的 及び 研究概要	<p>研究目的 コーチング及びトレーニング現場において収集した量的、質的情報(データ)を効果的に活用するためのデータ収集及び分析方法を検討するための基礎的資料を得ることを目的とする。特に、国内一流競技者の若年期以降の競技パフォーマンスの変遷および育成・強化のプロセスについて、量的・質的研究手法を用いて明らかにしながら、効果的な競技者育成・強化システム(モデル)の構築に資する基礎的資料を提示することを目指す。</p> <p>研究概要 ①各種競技会のパフォーマンスについて、映像情報を中心とする分析を行い、量的・客観的情報(データ)を収集・分析する。 ②競技者の幼少年期からのスポーツ歴(競技ヒストリー)について、半構造化面接法などを用いたインタビュー調査を行い、質的・主観的情報(データ)を収集・分析する。</p>
	研究成果	<p>・日本トップレベルの400mH選手のレースパターン分析を行い、その傾向を明らかにするとともに、選手やコーチにデータをフィードバックすることによって、トレーニングやコーチング実践に活かすことができた。</p> <p>・若年期のアスリート育成に関する国内外の動向について検討し、中長期的な視点での競技者育成の重要性および育成指針の策定などに向けた情報として整理し、公表することができた。</p>
研究業績	・論文および著書 著者名・論文タイトル・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	<p>①著書: 森丘保典「スプリント学ハンドブック -すべてのスポーツパフォーマンスの基盤- (第1部・第1章執筆)」、西村出版、2018年2月 ②著書: 森丘保典「子どものプレイフルネスを育てるプレイメーカー —プレイフルネス運動遊びへの招待— (第6章・第6項執筆)」サンライフ企画、2017年6月、132~135ページ。 ③著書: 森丘保典「コーチング学への招待(第1章・第1~2節執筆)」、大修館書店、2017年4月、2~11ページ。</p> <p>①論文: 小林柊次郎、渡邊将司、森丘保典、岩瀧一生「陸上競技日本代表選手の競技ヒストリー研究 —男子短距離選手を対象にした複線径路・等至性モデル—」陸上競技研究紀要、査読あり、13巻、2017年。</p>
	・学会発表等 発表者名・発表タイトル・学会名・発表年月日・発表場所	<p>①学会発表: 森丘保典「エビデンスに基づくアスリート育成・強化システムの構築に向けて —日本陸上競技連盟の取り組み—」、日本発育発達学会第16回大会、2018年3月10日、明治大学 ②学会発表: 森丘保典「コーチ育成のための「モデル・コア・カリキュラム」の実質化に向けて」日本コーチング学会第29回大会、2018年3月21日、山梨学院大学</p>
	・その他 *学会・競技団体報告書など 著書名・タイトル・掲載誌名 発表年月・発行所 *講演会、研究会、研修会、セミナー等での講演発表 発表者・発表年月・題目名・講演会名 *社会貢献活動等	<p>①報告書: 森丘保典、貴嶋孝太、千葉佳裕、櫻井健一、杉田正明「日本一流400mハードル選手のレースパターン分析 —2017年の国内主要大会について—」、陸上競技研究紀要、13巻、2017年 ②報告書: 森丘保典、須永美歌子、貴嶋孝太、真鍋知宏、山本宏明、酒井健介、杉田正明「2017年全国高等学校総合体育大会入賞選手のアンケート調査 —相対年齢効果や運動・スポーツ歴に注目して—」、陸上競技研究紀要、13巻、2017年 ③森丘保典・2018年1月21日・ジュニア期のスポーツ指導に求められること・佐賀県体育協会スポーツ指導者講演会</p>